

平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月7日
上場取引所 東

上場会社名 双葉電子工業株式会社
 コード番号 6986 URL <http://www.futaba.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 和伸
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 業務管理本部長 (氏名) 中村 正行 TEL 0475-24-1111
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	52,117	8.9	390	—	1,095	301.9	2,147	—
29年3月期第3四半期	47,838	△8.4	△189	—	272	△79.7	△592	—

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 6,888百万円 (606.5%) 29年3月期第3四半期 975百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株 当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	50.62	—
29年3月期第3四半期	△13.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	149,652	130,737	80.6
29年3月期	144,576	127,677	81.7

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 120,559百万円 29年3月期 118,174百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	14.00	—	74.00	88.00
30年3月期	—	14.00	—		
30年3月期(予想)				74.00	88.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 平成29年3月期および平成30年3月期(予想)の期末配当金の内訳 普通配当14円 特別配当60円

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,000	9.1	1,000	—	1,400	—	1,600	—	37.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	43,886,739株	29年3月期	43,886,739株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	1,466,850株	29年3月期	1,466,349株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	42,420,260株	29年3月期3Q	42,474,542株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて算出しており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減率 (%)
売上高	47,838	52,117	8.9
営業利益(△損失)	△189	390	—
経常利益	272	1,095	301.9
親会社株主に帰属する 四半期純利益(△損失)	△592	2,147	—
米ドル平均レート	108円/\$	112円/\$	+4円

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、企業業績や雇用・所得環境の改善に支えられ、緩やかに回復しています。

一方、世界経済は、米国では個人消費の拡大や設備投資の増加に支えられ景気回復が継続しており、中国も堅調な個人消費や輸出に支えられた景気の持ち直しが続いています。北朝鮮・中東情勢などの地政学的リスクや米国や欧州の政治動向などについては、留意すべき状況が続いています。

このような状況のなか、当社グループは、電子デバイス関連事業のタッチセンサーや生産器材事業のプレート製品の拡販に注力しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は521億1千7百万円(前年同期比8.9%増)となりました。このうち海外売上高は333億9千5百万円(前年同期比9.9%増)となり、国内売上高は187億2千1百万円(前年同期比7.3%増)となりました。

収益面では、営業利益は3億9千万円(前年同期は営業損失1億8千9百万円)、経常利益は10億9千5百万円(前年同期比301.9%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、固定資産売却益を計上したことなどから21億4千7百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失5億9千2百万円)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりです。なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えています。

(単位：百万円)

セグメント名称	前第3四半期連結累計期間 外部顧客への売上高	当第3四半期連結累計期間 外部顧客への売上高	増減率 (%)
電子デバイス関連	25,297	27,727	9.6
生産器材	22,540	24,390	8.2
合計	47,838	52,117	8.9

① 電子デバイス関連

(主な製品：蛍光表示管、有機ELディスプレイ、タッチセンサー、複合モジュール、産業用ラジコン機器、ホビー用ラジコン機器等)

<蛍光表示管の売上高の状況>

家電用途は順調でしたが、自動車、音響用途の需要が減少したことにより、売上げは前年同期を下回りました。

<有機ELディスプレイの売上高の状況>

通信機用途や映像用途が伸びたものの、自動車向けが大きく減少したことから、売上げは前年同期を下回りました。

<タッチセンサーの売上高の状況>

主力の車載用途が計画を上回るペースで拡大し、売上げは前年同期を大幅に上回りました。

<複合モジュールの売上高の状況>

家電用途は順調でしたが、POS用途が依然として低迷していることから、売上げは前年同期をやや下回りました。

<産業用ラジコン機器の売上高の状況>

FA向けが低迷したものの、農業関連向けが堅調に推移したことから、売上げは前年同期を上回りました。

<ホビー用ラジコン機器の売上高の状況>

取引先の業績悪化等の影響を受けて北米向けが落ち込みましたが、大手パートワーク（分冊百科）販売会社向けコマンド方式サーボの売上げが大きく伸長し、売上げは前年同期を上回りました。

② 生産器材

(主な製品：プレート製品、金型用器材、成形合理化機器)

<国内売上高の状況>

プレス金型用器材は引き続き低迷しましたが、プレート製品および成形合理化機器が伸びたことから、売上げは前年同期を上回りました。

<海外売上高の状況>

主力の韓国市場において、スマートフォン向けは依然として低迷していますが、自動車向けは堅調に推移し、売上げは前年同期をやや上回りました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、投資有価証券の増加などにより、前連結会計年度末に比べ50億7千6百万円増加し1,496億5千2百万円となりました。

負債は、短期借入金や繰延税金負債の増加などにより、前連結会計年度末に比べ20億1千7百万円増加し189億1千5百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定やその他有価証券評価差額金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ30億5千9百万円増加し1,307億3千7百万円となりました。この結果、自己資本比率は80.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年11月8日に公表しました連結業績予想から、修正は行っていません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	56,865	53,393
受取手形及び売掛金	17,358	18,908
有価証券	123	—
商品及び製品	3,815	4,774
仕掛品	2,642	2,952
原材料及び貯蔵品	6,683	7,695
その他	1,256	1,603
貸倒引当金	△394	△371
流動資産合計	88,352	88,956
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,179	13,173
機械装置及び運搬具(純額)	8,862	9,208
工具、器具及び備品(純額)	744	1,110
土地	17,433	17,725
リース資産(純額)	100	72
建設仮勘定	1,787	993
有形固定資産合計	42,107	42,284
無形固定資産		
のれん	—	1,371
その他	984	895
無形固定資産合計	984	2,266
投資その他の資産		
投資有価証券	11,808	14,762
その他	1,615	2,051
貸倒引当金	△291	△669
投資その他の資産合計	13,132	16,144
固定資産合計	56,224	60,695
資産合計	144,576	149,652

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,968	4,719
短期借入金	—	950
電子記録債務	1,558	2,169
未払費用	3,424	2,863
未払法人税等	509	317
賞与引当金	874	723
その他	1,745	1,576
流動負債合計	12,081	13,318
固定負債		
長期借入金	—	106
繰延税金負債	1,086	1,872
役員退職慰労引当金	116	138
退職給付に係る負債	3,380	3,218
その他	233	260
固定負債合計	4,816	5,596
負債合計	16,898	18,915
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,558	22,558
資本剰余金	21,594	21,594
利益剰余金	78,526	77,014
自己株式	△2,733	△2,734
株主資本合計	119,945	118,432
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,654	3,307
為替換算調整勘定	△2,414	△738
退職給付に係る調整累計額	△1,011	△442
その他の包括利益累計額合計	△1,771	2,126
非支配株主持分	9,503	10,178
純資産合計	127,677	130,737
負債純資産合計	144,576	149,652

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	47,838	52,117
売上原価	38,504	41,405
売上総利益	9,333	10,711
販売費及び一般管理費	9,522	10,321
営業利益又は営業損失(△)	△189	390
営業外収益		
受取利息	175	219
受取配当金	187	180
為替差益	115	224
その他	111	187
営業外収益合計	589	812
営業外費用		
固定資産解体撤去費用	14	15
その他	113	91
営業外費用合計	127	107
経常利益	272	1,095
特別利益		
固定資産売却益	11	2,087
特別利益合計	11	2,087
特別損失		
固定資産売却損	8	12
固定資産廃棄損	15	41
投資有価証券評価損	15	—
減損損失	3	68
災害による損失	14	—
特別退職金	64	—
特別損失合計	123	122
税金等調整前四半期純利益	161	3,060
法人税、住民税及び事業税	517	545
法人税等調整額	46	14
法人税等合計	563	560
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△402	2,500
非支配株主に帰属する四半期純利益	189	353
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△592	2,147

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△402	2,500
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	599	1,639
為替換算調整勘定	162	2,176
退職給付に係る調整額	616	571
その他の包括利益合計	1,377	4,387
四半期包括利益	975	6,888
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	968	6,038
非支配株主に係る四半期包括利益	6	849

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子デバイス 関連	生産器材	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	25,297	22,540	47,838	—	47,838
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	0	4	△4	—
計	25,302	22,540	47,842	△4	47,838
セグメント利益又は 損失(△)	△849	660	△189	△0	△189

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去です。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子デバイス 関連	生産器材	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	27,727	24,390	52,117	—	52,117
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	0	5	△5	—
計	27,732	24,390	52,122	△5	52,117
セグメント利益又は 損失(△)	△585	975	390	△0	390

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去です。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、技術および営業部門の統合によるシナジー効果や新たな融合商品の創出を行うことを目的とした会社組織の変更に伴い、報告セグメントを従来の「電子部品」、「電子機器」および「生産器材」の3区分から、「電子デバイス関連」、「生産器材」の2区分に変更しています。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき開示しています。